

協働学習支援ツールを用いて、自分と仲間のノートの記述を比較して、自分の考え方を深めていく学習

第6学年

比例と反比例

こんな子どもたちの姿が生まれました!

- 仲間のノートの記述を解釈して、自分の考えに生かそうとする姿がありました。
- ICT 端末上で自分の過去のノートを振り返り、考えを整理しようとする姿がありました。

大型提示装置の活用による効果

導入でデジタル教科書を拡大提示し、面積が一定の場合の縦と横の長さの関係について学級全体で確認する。

- ・縦の長さや横の長さの変化の様子を動的かつ視覚的に把握できるようにする。
- ・一方の量が変わるとそれにもなって、もう一方の量が変化していることを確認し、比例の関係との違いに着目できるようにする。



教師の指導のポイント

- 変化の様子を確認しながら、一方の数量が増えると、もう一方の数量は減る関係にあることに気付かせる。
- デジタル教科書の提示に併せて、黒板等に表も提示し、変化する2量の関係について考察していくという見通しをもたせる。

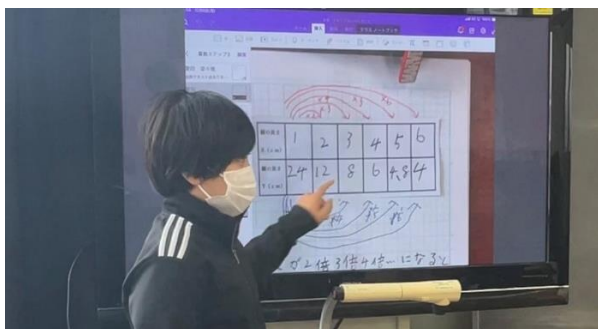
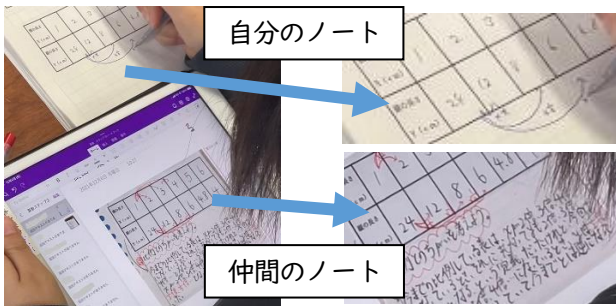
協働学習支援ツールの活用による効果

自分と仲間の考えを比較して考えられるように、学級全員のノートを必要に応じて見られるように設定する。

- ・自分の考えと比較したり、自分一人では考えを整理できなかったりする時に、仲間のノートを見ることは、効果的である。ただし、自分で考える前から仲間のノートを見ることはふさわしい使い方ではないことを日常的に指導しておく。
- ・仲間からのサインやコメントなどによって、承認してもらうことで、自分の意見に自信がもてるようにする。

協働学習支援ツールを用いて、自分の考えを説明したり、学級全体の考え方を整理したりする。

- ・ICT 端末で撮影した自分のノートの記述を大型提示装置に映し出し、自分の考えを説明する。
- ・複数の児童のノートを提示し、共通点・相違点に着目させて、横の見方や縦の見方等、類別に整理することを通して、比例の関係との違いを明確にする。



教師の指導のポイント

- いつでも学級全員のノートを見られるように設定し、必要に応じて使える（自己調整できる）ように配慮する。
- 仲間のノートを見た際には、参考になったことやよかったことをメモして相互評価する。
- 学級全員の考え方を一覧表示し、「〇〇さんと似ている考え方はどれですか？」などと、共通点・相違点に着目させる発問をする。

